

次期担当都道府県医師会長挨拶
および閉会

【司会 水上】

では、続きまして、本日開催されました都道府県医師会連絡会議で来年度の担当県に決定いたしました秋田県医師会・坂本哲也副会長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。

坂本副会長、よろしくお願いいたします。

次期担当県挨拶

秋田県医師会 副会長 坂本 哲也

今の姜先生のお話が余りにすばらしくて、さっきまで覚えていた、暗唱した文章をすっかり忘れてしまいました。

ただいまご案内いただきました秋田県医師会の坂本でございます。来年度の本大会を担当することになりました。本来であれば、医師会長の小山田がここに出席してご挨拶を述べるところでございますが、地元にいなければいけない事情がございます、かわりに私がご挨拶をさせていただきます。

まずもって、昨年3月11日、東日本大震災で、全く意図しない不幸に出会いました子どもたちに対しまして、全国各地の学校医の先生方から多大なご支援をいただきましたことに、東北地方の仲間を代表して、一言御礼を申し上げさせていただきます。

さて、今年は第43回、来年度は44回の本大会、平成25年11月9日土曜日、秋田市において、秋田市の中心部であります秋田キャッスルホテル並びに隣接いたします県民会館で行わせていただくことを考えております。

なお、そのテーマでございますが、「子どもは希望、未来の力」というテーマで、さらに、シンポジウムといたしましては、現在学校医の直面する問題点を議題にしてまいりたいと考えております。

さて、ここで、恒例の秋田県のPRをさせていただきます。

今回の非常に立派な運営をしていただきました熊本県は、美人、そしてお酒、そして火の国とい

うことで有名でございますが、実は秋田県も、この点においてほぼ同じかなと思っております。特に、お酒は、こちらは焼酎、我々は日本酒ですけれども、美人ということに関しましては、いささか自負がございます。

その自負が高じまして、数日前まで、東京は銀座のだ真ん中に、秋田美人の顔写真を、横12メートル、縦32メートルのフィルムシートを銀座のビルの壁に映し出して、そして秋田美人という名前をつけて、外国人も、余りきれいなのでほうっと口をあけて見ていたというぐらいですが、実は美人の「じ」と「ん」の間に「よ」があります。「あきたびじょん」と言うのですが、我々秋田県は、現在、少子化、高齢化、特に高齢化におきましては、世界、全国一、ですから、世界一の最先端を走っております。何とか県民挙げてこれを持ち切らなければいけないということで、その意思表示ということで銀座のだ真ん中に秋田美人を出したということでございます。

さて、もう1つ、実は、秋田県、何だか私は余りよくわからないのですが、教育がいいとか、それから体格がいいとか、何か皆様のお耳を汚しているようでございますが、これも我々秋田県の学校医の自負というふうには少しは胸を張っております。

その他、我々は、平安の昔から、ホスピタリティーということで、非常にこれまで旅人に対して多くの温かさでもてなしてまいりました。ということで、来年、みちのくの晩秋ではございますが、ホスピタリティーと、そして十分な準備をいたしました勉強ということで、皆様をお待ち申し上げたいと思っております。

ということで、この立派な熊本の運営には及びもいかないかもしれませんが、秋田県医師会一同、大いに頑張ってお迎えしたいと思っておりますので、よろしくご指導を願いたいと思っております。

【司会 水上】

坂本副会長、ありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、熊本県医師会副会長・高橋洋より閉会の辞を申し上げます。

閉会

熊本県医師会 副会長 高橋 洋

これをもちまして第43回全国学校保健・学校医大会を終了いたします。

長時間の研修、表彰式、シンポジウムと、皆様のご協力により無事プログラムを終了することができました。ここに感謝を申し上げまして、閉会を宣言いたしたいと思います。

どうもありがとうございました。

【司会 水上】

高橋洋より閉会の辞を申し上げます。

以上をもちまして、第43回全国学校保健・学校医大会を閉会いたします。

本日は、長時間にわたりご参加いただきまして、誠にありがとうございました。